

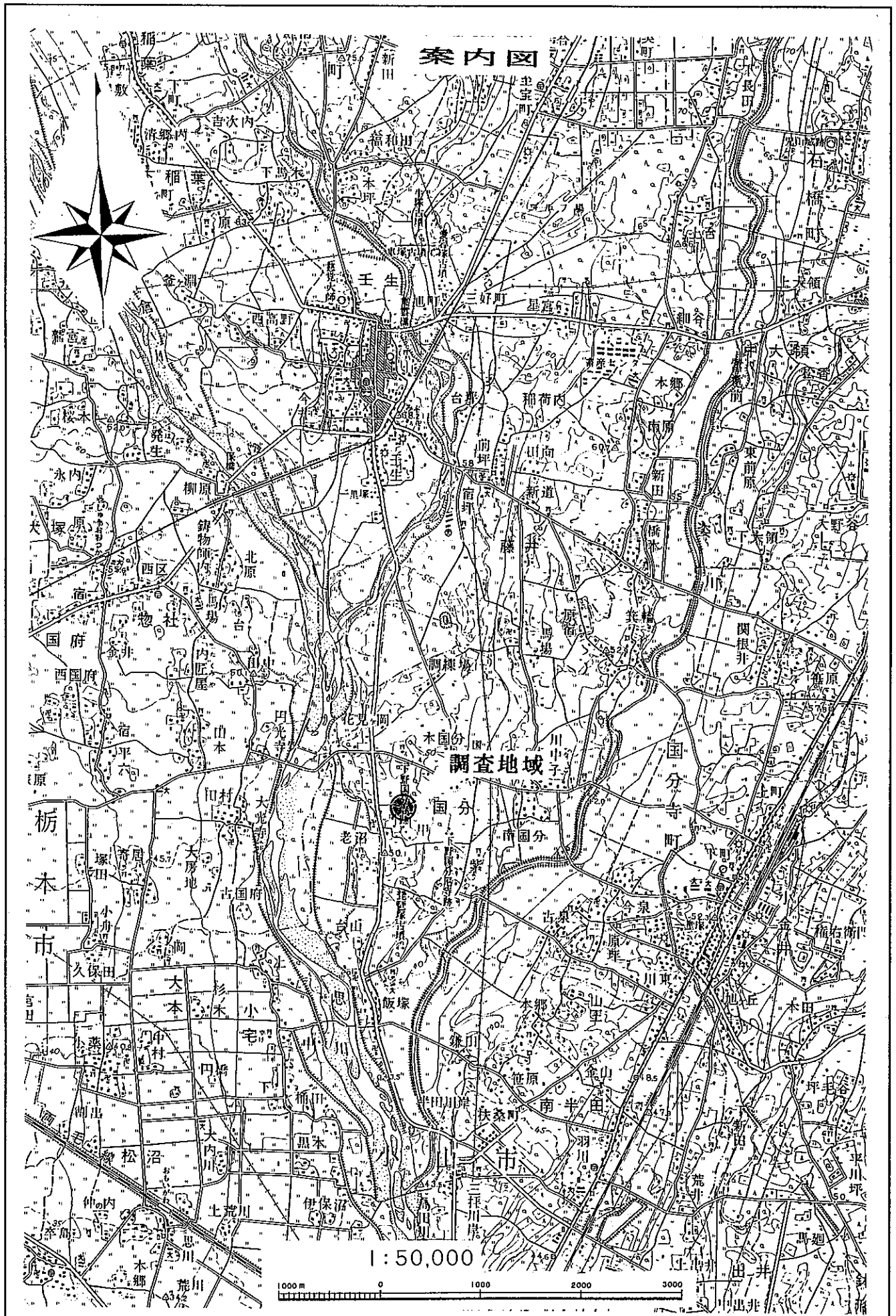
ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



柱状 B-A-S-E

第 1 図 土質柱状図

調査名 県立埋蔵文化財調査センター(仮称)
新築工事地質調査

ボーリング方法 ローター式

調査位置 国分寺町

地点番号 No. 1 標高 49.12 m 調査年月日 63年11月 1日~11月 3日

孔内水位 GL-3.40 m 担当者名

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験		
									深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数
1	48.42	0.70	0.70	X		表土	暗灰色	黒ボク, 上部腐植物混り	1.15	3	1
2				〰〰〰				全体的軟い 2.00m付近から鹿沼軽石粒混る 粘性弱い	1.45	30	10
3				〰〰〰					2.15	2	1
4	45.32	3.80	3.10	〰〰〰		ローム	褐灰色	粘性強い 軟い	2.45	30	15
5				〰〰〰					3.15	1	1
6	43.32	5.80	2.00	〰〰〰		粘土	孔灰褐色	礫φ40~50mmのもの 点在する 礫φ20mm内外のもの が多い 8.00m付近ルーズ 含水中位 礫は丸味よおびている	3.52	37	37
7				〰〰〰					4.15	1	1
8				〰〰〰					4.46	31	31
9				〰〰〰					5.15	3	1
10				〰〰〰					5.45	30	10
11	38.67	10.45	4.65	〰〰〰		砂	褐灰色	粒子不均質である 12.30m付近から締まる 13.30mから小礫及び 中砂混る 下部小礫多い	6.15	24	7
12				〰〰〰					6.45	30	10
13				〰〰〰					7.15	34	10
14				〰〰〰					7.45	30	10
15	34.52	14.60	4.15	〰〰〰		細砂	青灰色	礫φ5~10mm位主体 、φ40mm介入する 礫は角礫である 部分的に粘土混る 下部極粘土混る	8.15	23	9
16				〰〰〰					8.45	30	10
17				〰〰〰					9.15	48	16
18	31.52	17.60	3.00	〰〰〰		砂	暗灰茶色	腐植物混入する 微砂混る, 粘性弱い 極微量の粘土所々に混る	9.45	30	10
19	30.42	18.70	1.10	〰〰〰		砂質粘土	褐色		10.15	50	47
20				〰〰〰					10.26	11	10
21	28.67	20.45	1.75	〰〰〰		砂	褐灰色	礫はφ10mm位のもの 多くφ40mm混る 20.40mから細砂とな る	11.15	14	5

柱状 - B A S E

第 2 図 土質柱状図

調査名 県立埋蔵文化財調査センター(仮称)
新築工事地質調査

ボーリング方法 ロータリ-

調査位置 国分寺町

地点番号 No. NO.2 標高 48.13 m 調査年月日 63年11月 2日~11月 8日

孔内水位 GL.-2.60 m 担当者名

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験			
									深度 (m)	N 値 回	10cm 打撃回数 c.m.c.m	(N 値)
1	46.73	1.40	1.40	X		表土	暗黒色	黒ボクでばさばさしている 細い腐植物混入する ばさばさしている	1.15	3	1	1
2									1.45	30	10	10
3	45.23	2.90	1.50	△△		ローム	褐色	粒状である, 含水含む さらさらしている	2.15	4	1	2
4	44.13	4.00	1.10	△△		軽石	黄褐色	上部に腐植物多量に混 入する	2.50	35	10	15
5	43.73	4.40	0.40	△△		軽石	乳白色	5.00m 下部粘性中位	3.15	1	1	
6	42.23	5.90	1.50	VVVV		腐植土	暗黒色	礫φ5~10mmのもの 及び粗砂が全てである φ50mmの礫点在	3.76	61	61	
7	40.93	7.20	1.30	○○		砂礫	緑灰色	礫φ10mm内外の小礫 が多い	4.15	2	0	1
8	40.53	7.60	0.40	○○		砂質シルト	緑灰色	最大礫φ50mm位の点 在	4.49	34	11	13
9				○○				10.60~11.00m間は礫 少ない, 粗砂分多い 粘土少量混る	5.15	2	0	1
10				○○					5.47	32	7	13
11	36.83	11.30	3.70	○○		粘土混じり砂	緑青灰色		6.15	28	7	11
12	36.33	11.80	0.50	○○		粘土	暗褐色	全体に腐植土質である	6.45	30	10	10
13	35.23	12.90	1.10	○○		礫混じり粗砂	緑青色	礫φ5~10mm内のも の混入	7.15	8	4	2
14				○○				礫φ10~40mm内のも の全体に多く密集礫が 主である	7.45	30	10	10
15				○○				14.40~14.60m間砂挟 む	8.15	50	15	35
16				○○				最大礫φ60mm程度 15.60m下部は粗砂多 い	8.34	19	10	9
17				○○				礫φ30mm内もの混 る	9.15	50	20	20
18				○○				18.90m下部礫多く混 る 主は粗砂である	9.41	26	10	10
19				○○					10.15	43	18	14
20	28.03	20.10	7.20	○○		砂礫	灰褐色		10.45	30	10	10
21	27.63	20.40	0.40	○○		粘土混じり粗砂	暗褐色	粘性非常に強い 礫混入φ5mm	11.15	23	14	5

柱状 - B A S E

第 3 図 土質柱状図

県立埋蔵文化財調査センター(仮称)
新築工事地質調査

ボーリング方法 ロータリ-

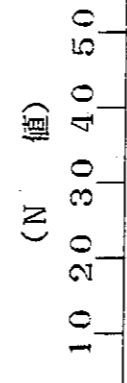
調査位置 国分寺町

地点番号 No. 3 標高 47.91 m 調査年月日 63年11月 9日~11月12日

孔内水位 GL-2.40 m 担当者名

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験		
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数 c.m.c.m.c.m
1	47.01	0.90	0.90	X		表土	暗黒色	黒ボク、植生根混入はさばさしている	1.15	3	1
2				〰〰〰〰		ローム	暗茶色	腐植物混入する	1.49	34	13
3	45.11	2.80	1.90	△△		軽石混じり粗粒青灰色砂	暗茶色	さらさらした粒状である	2.15	2	1
4	44.61	3.70	0.20	△△		粘土質腐植土	暗茶黒色	粘性中~強い	2.48	33	21
5				〰〰〰〰		砂	青灰色	有腐植物混入多量	3.15	2	1
6	42.21	5.70	1.80	〰〰〰〰		腐植土	暗茶黒色	腐植物混じり粘性強い	3.64	49	28
7	41.61	6.30	0.60	〰〰〰〰		砂	青灰色	礫φ10~30mm、含水多量でルーズ	4.15	2	1
8	41.31	6.60	0.30	〰〰〰〰		腐植土	暗茶黒色	礫φ10~30mm、腐植土細砂を挟む	4.46	31	17
9	41.01	6.90	0.30	〰〰〰〰		砂	青灰色	礫φ10~15位の円礫	5.15	3	1
10	40.51	7.40	0.50	〰〰〰〰		砂	青灰色	全体に粘土混る	5.46	31	12
11	39.11	8.80	1.40	〰〰〰〰		礫混じり粗砂	暗緑青灰色	角礫所々に混る	6.15	18	9
12	38.11	9.80	1.00	〰〰〰〰		粘土混じり粗砂	緑青灰色	礫φ5~20mm混入主に粗砂である	6.45	30	10
13	37.21	10.70	0.90	〰〰〰〰		砂	緑青灰色	細い腐植物混る、全体に砂混入	7.15	37	16
14	36.51	11.40	0.70	〰〰〰〰		砂混じり腐植土	暗茶色	細礫φ10mm位のもの多量に混る粗砂が主体	7.45	30	10
15	35.11	12.80	1.40	〰〰〰〰		砂	暗黒色	所により小礫混る	8.15	34	9
16	34.61	13.30	0.50	〰〰〰〰		砂	暗茶色	礫φ10~60mm内のものが多く混る	8.45	30	10
17	31.81	16.10	2.80	〰〰〰〰		砂	緑灰色	15.60~15.70m間透水あり	9.15	28	7
18	30.01	17.90	1.80	〰〰〰〰		砂質粘土	褐色	粘性弱い	9.45	30	10
19				〰〰〰〰		粘土混じり粗砂	灰褐色	所々に細かい腐植物混る	10.15	50	26
20	28.11	19.80	1.90	〰〰〰〰		粗砂	灰褐色	全体的に礫φ10~60mmの礫が密集している	10.37	22	10
21	27.46	20.45	0.65	〰〰〰〰		粗砂	灰褐色	所見られる細礫が主体	11.15	23	3



柱状 - B A S E

第 4 図 土質柱状図

調査名 県立埋蔵文化財調査センター(仮称)
新築工事地質調査

ボーリング方法 ロータリー式

調査位置 国分寺町

地点番号 No. NO.4 標高 47.47m 調査年月日 63年11月14日~11月18日

孔内水位 GL-2.55 m 担当者名

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験		
									深 度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数 c.m.c.m.c.m
1	46.77	0.70	0.70	X		表土	暗黒色	黒ボク、植性根混入 粘性はばさばさしている	5	1	2
2	45.77	1.70	1.00	△△		ローム	暗茶色	さらさらしている 粒状である	32	12	10
3	44.17	3.30	1.60	△△		軽石	黄褐色		1	1	
4	43.47	4.00	0.70	△△		粘土	乳褐色	細い腐植物混入、上部 暗茶色下部乳褐色	42	42	
5	42.67	4.80	0.80	△△		砂質粘土	乳褐色	全体に中砂混入する下 部につれ多い、4.6m 際点在	21	12	
6	42.17	5.30	0.50	△△		中砂	濁灰色	5.20m粘土混る	5	3	
7	41.87	5.60	0.30	△△		細砂	青灰色	さらさらしている 礫φ10~30mm位多い 5.6~6.5m間隙密集す る	30	10	10
8				△△		砂	緑青灰~ 濁灰色	最大礫φ80mm位い 7.30mから濁灰色で礫 φ10~20mm位の角礫 主体最大60mm 7.30~7.80mに粘土少 量混る	43	17	14
9				△△		砂		所々礫密集する礫φは 30~50 mm最大100mm 10.4m下部緑青灰色で 礫φ10~30mm多い	30	10	10
10	36.87	10.60	5.00	△△		腐植土	暗黒灰色	小礫混入砂混る	50	31	19
11	36.47	11.00	0.40	△△		粘土質砂	暗緑灰色	上部腐植土質で礫所々 に混る礫φ10mm位の もの	18	10	8
12	35.67	11.80	0.80	△△		礫混じり中砂	濁灰色	上部暗緑灰色 φ10mm位の礫少量混 る	30	10	10
13	34.77	12.70	0.90	△△		砂	濁灰色	礫φ10~30mm位のも の多量に混入 14m下部透水あり	37	12	13
14				△△		砂	暗褐色	粘性中位、所々に小礫 混る	30	10	10
15	31.87	15.60	2.90	△△		砂質粘土	褐色	礫φ10mm位多い 所々φ80mm混る 部分的に粘土混入する 18.8~19.8m間はs最 多	50	35	15
16	31.07	16.40	0.80	△△		砂	濁灰色		14	10	4
17				△△		砂質粘土	褐色		7	7	
18				△△		砂	濁灰色		50	26	24
19	27.67	19.80	3.40	△△		砂	濁灰色		12	10	2
20	27.02	20.45	0.65	△△		粘土	暗灰色		21	2	3
21				△△		粘土	暗灰色		30	10	10